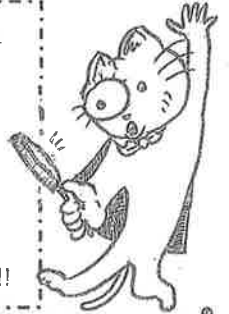


「道草を食う」とは、ご存じのとおり、目的地に行くまでに寄り道をして余計な時間を費やしてしまうことを意味する慣用句です。でも・・・これ、本当に悪いことなのでしょうか。かく言う私も、ずっとマイナスイメージだったのです・・・ここ南部町に来るまでは。でも、法勝寺地区は「里山で何もない」どころか、子どもたちが下校時に「寄り道したくなる」ホットスポットがたくさんありますよね。キナルなんぶ、法勝寺温泉、米や、しあわせ・・・満開の桜土手。もちろん、安心・安全な場所にこしたことはないですが、子どもたちが興味関心を広げる場所は、大人が決めた場所とは限らないはず。南部町はそんな知的好奇心を育むことができる最高の地域です。見守ってくださる大人もいます。おおいにミチクサクオウジャンイデスカ!!



Let's think about what we can do !



Ask not what your country can do for you, ask what you can do for your country. (あなたの国が自分に何をしてしてくれるかではなく、あなたが国のために何ができるかを問ひかけなさい。)

これは、アメリカ第35代のジョン・F・ケネディ大統領が、大統領就任演説で述べた言葉です。Country(国)を school(学校)に置き換えてみるとそのまま私が今、生徒の皆さんに伝えたいメッセージになります。

「自分に何ができるか」と問い、一人一人の知恵や特技を結集し、皆さんの自治によって法中を盛り上げてほしい・・・と願います。誰かが何とかしてくれる、誰かが代わりにやってくれるのではなく、法中生一人一人、法中教職員一人一人、CS 一人一人が知恵を出し合って、「今自分にできること」を考えながら、喝采溢れる法中をめざしていきましょう。

一生懸命な大人に出会ったあ!



3月末にやぐもに乗機合がありました。私は鉄道マニアではないですが、やはり電車旅はワクワクします。旅のおもは推理小説とコーヒートリ。タビタビラジオ(ケタイ)から流れてきた曲は、お六角帽現象の『ディーゼル』。その時のシチュエーションにぴったりでした。皆さんもどうお過ごしに? ホームにおりて皆伸びてます。おーっしあが、おーっしあが、おーっしあが。



生徒の
名言

春なのに...雪でスノウ(笑) (学年不明)